

横浜南西地域
単位制普通科
（横浜桜陽高校・永谷高校）
設置計画

令和8年3月

神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 横浜桜陽高等学校 永谷高等学校
- (2) 位置 横浜桜陽高等学校敷地（横浜市戸塚区汲沢町973）
- (3) 実施年度 令和9年度

2 設置の目的

- これまでの両校の教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、基礎からしっかり学ぶことで進学や就職に向けた確かな学力を育成し、一人ひとりの将来について自覚を深める。
- 横浜桜陽高校の充実したキャリア教育の取組みや永谷高校の「進路実現プロジェクト」等、これまで両校が進めてきた進路実現に向けた取組みを融合させ、生徒一人ひとりの夢をかなえるための進路指導を展開する。
- 両校が実践してきた学習支援の取組みを充実させ、生徒一人ひとりの学習ニーズに応じた学力の向上を図り、学校全体の教育力の向上をめざす。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制普通科の県立高校としての教育の展開
- 生徒の自己有用感の伸長に向けた取組みの推進
多様な社会変化に対応し、これからの社会を自分らしく生き抜くことができるように、生徒一人ひとりのニーズに応じた学習及び進路支援体制を整え、学校行事や部活動等の多様な教育活動を通して、自ら学び、考え、判断して行動する力、他者を尊重する態度や協働する姿勢を育成する。
- 生徒の自己実現に向けた学習を支援する取組みの推進
これまで両校が取り組んできた教育内容を充実・発展させ、主体的に学び続ける意欲を引き出し、その学習内容の確実な定着や学びの深化を図るとともに、より高みをめざして、自己実現を目的とした学力向上の取組みを図る。

○ 地域と連携・協働した教育活動の推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会へ参画する意欲を高めるとともに、地域の教育力を活用した教育活動の推進を図り、学ぶことと社会とのつながりを実感できる、地域とともに歩む学校づくりを推進する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
- (2) 学 科 普通科
- (3) 学校規模 960名程度（各学年320名程度 8学級規模程度）
※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
- (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
- (5) 学 期 2学期制
- (6) 履修形態 共通教科の科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
- (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	6校時時程（週5日）
ショートホームルーム	8：45～8：55
1校時	9：00～9：50
2校時	10：00～10：50
3校時	11：00～11：50
4校時	12：00～12：50
昼休み	12：50～13：35
5校時	13：35～14：25
6校時	14：35～15：25
ショートホームルーム	15：25～15：35
清掃	15：35～15：45

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
- (2) 選抜の区分 共通選抜
- (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本的方針

- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路目標を設定し、より高みをめざして、自己実現に向けた行動がとれるよう、上級学校進学をはじめとした多様な進路に対応するために、単位制普通科として、適切な科目配置を行う。

(2) 教育展開の方針

- 生徒一人ひとりの学習に対する興味・関心を高め、自らの強みに気づき、自己実現ができるよう、学習活動を展開する。
- 生徒が将来の進路について自己理解を深め、自らのキャリアプランを明確にするための支援を行うとともに、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力の育成をめざす。
- 生徒が地域社会に貢献する機会を提供し、他者と協働しながら社会的責任を果たす態度を養う。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ必履修科目を定めることを基本とした教育課程による運用に取り組む。
- 生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図り、自己有用感の向上に資する学びを促進するために、生徒の学習ニーズに応じた多様な科目を設置し、単位制の利点をいかした科目選択を可能とする教育課程を編成する。

(4) 教育課程表 (予定)

○ 普通科

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年次	現代の国語③			言語文化②		歴史総合②		数学Ⅰ③			数学A②		化学基礎②		生物基礎②		体育③		保健①		音楽Ⅰ / 美術Ⅰ / 書道Ⅰ②		英語コミュニケーションⅠ④			情報Ⅰ②		総合的な探究の時間①		LHR①
2年次	地理総合②		公共②		体育③		保健①		英語コミュニケーションⅡ④			家庭総合②		論理国語④		地学基礎②		論理・表現Ⅰ②		必修選択④			2年次自由選択①②		総合的な探究の時間①		LHR①			
														論理国語②		物理基礎②		数学Ⅱ④		数学C②		化学 / 生物④								
3年次	体育②		家庭総合②		文学国語④			政治・経済②		3年次必修選択④			英語コミュニケーションⅢ④		論理・表現Ⅱ②		3年次自由選択⑦⑧							総合的な探究の時間①		LHR①				
					論理国語②		数学Ⅲ④		生物 / 化学④			言語文化②		英語コミュニケーションⅡ②		論理・表現Ⅰ②														

教育課程表は予定であり、変更することがある。

◇ 2年次必修選択 (4単位)

日本史探究④、世界史探究④、数学Ⅰ②、数学Ⅱ④、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、情報Ⅰ②

◇ 2年次自由選択 (0～2単位)

数学Ⅰ②、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、**Advanced English I (外) ②**

◇ 3年次必修選択 (4単位)

選択群α：国語表現④、古典探究④、日本史探究④、世界史探究④、化学④、生物④

選択群β：地理探究②、日本史探究②、世界史探究②、倫理②、数学A②、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、書道Ⅲ②、**実用の書(芸)②**、英語コミュニケーションⅡ②、情報Ⅰ②、[情] 情報デザイン②、[体] スポーツⅡ②、[体] スポーツⅢ②、[音] 器楽②、[美] 素描②

◇ 3年次自由選択 (0～8単位)

論理国語②、国語表現④、歴史総合②、**近現代と神奈川(地歴)②**、倫理②、数学Ⅰ②、数学B②、科学と人間生活②、物理基礎②、化学基礎②、生物基礎②、**幼児教育音楽(芸)②**、英語コミュニケーションⅡ②、**Advanced English II (外) ②**、**比較文化探究(外)②**、情報Ⅱ②、[家] 保育基礎②、[家] 服飾手芸②、[家] フードデザイン②、[美] ビジュアルデザイン②

選択科目について

- ・ 2年次自由選択の下線の科目について、2年次必修選択で履修する場合は、選択できない。
- ・ 3年次必修選択の選択群αの日本史探究④及び世界史探究④について、2年次必修選択で履修した場合は、選択できない。
(単位数は○囲いの数字で、学校設定科目は太字で示す。)

<主な科目>

幼児教育音楽 (2単位)

実践的・体験的な学習活動を通して、幼児の発達段階に応じた楽曲の演奏技術(伴奏・歌唱)を身に付ける。幼児の豊かな表現力や感受性を高めることの重要性を理解させ、他者を尊重し、社会を創造する態度を育成する。

Advanced English I・Advanced English II (各2単位)

日常的な会話から社会的な話題等、具体的な言語の使用場面を設定し、英語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、実践的なスピーキング力やリスニング力の定着を図る。また、社会生活に必要な他者理解の意識を醸成するとともに円滑なコミュニケーション能力を育成する。

総合的な探究の時間 (3単位)

I C T等を活用した主体的・協働的な学習活動を通して、広い視野で社会を捉え、多様な課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、地域の教育力を活用し、生徒一人ひとりが社会の一員としての自覚を持ち、地域社会へ参画する態度を育成する。

(5) 学習指導の工夫

- I C Tを活用した主体的・協働的な学習活動により、主体的に学び続ける意欲を引き出すとともに、確かな学力の向上につながるよう工夫する。
- 教科等横断的な学習やそのための指導の方法等を充実させる取組みを工夫することで、学習内容の確実な定着や学びの深化を図る。
- 自らの進路希望や学習の目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容まで、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動による様々な体験を通して、互いの個性を理解し尊重する、より良い人間関係の構築と自立をめざすための指導及び支援を行う。
- 生徒の状況を的確に把握し、多様な教育的ニーズに対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 生徒と教職員との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を構築するとともに、教職員による生徒理解を深める。

(7) 進路指導の工夫

- 多様な進路希望に対応するため、生徒自身が自己の個性を理解し、主体的に選択する能力・態度を育成することができるよう、計画的、組織的、かつ継続的な指導・支援を実践できるキャリア教育実践プログラムを構築し、推進する。
- 体系的なキャリア教育を行い、生徒の進路実現を支援する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。
- これまで両校が取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 全日制課程における単位制普通科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256